

鈴木将浩（自民党市議員）

ホームページの運用について

**問** 災害時にアクセスが集まらず、もし閲覧できなくなつた場合の対応は。

**答** 浦添市と災害時の情報発信に関する応援協定書を締結し、相互に代行発信する体制を整え、テストも行っている。

**問** 市はオープンデータとして人口の1種類しか対応していないが、今後の対応方針は。

**答** 運用や管理面でのルール作りが必要なので、段階的に国の推奨データセットに準じた整備を進めていきたい。



**問** SNS・特設サイトの管理がされておらず、ガイドラインの必要性を感じるが、市の考えは。

**答** まずは各部署での開設状況を把握し、ガイドラインについても検討する。

鈴木基夫（自由クラブ）

市民病院でのプライマリケア（総合診療）は

**問** プライマリケアへの現状での取り組みは。

**答** 患者支援センターを開設し、地域全体でのプライマリケアの実現を考えている。そのうえで、新たに内科の診察室を1室増設し、何科で受診すればよいか分からない患者に総合的な診療を行い、専門的な治療が必要な場合は、速やかに該当の診療科で治療が受けられる体制としている。

**問** 今後の方向性について伺う。

**答** 市内唯一の二次医療機関の市民病院においても、予防医療の知識も含めて幅広い臨床の知識が必要で、それを駆使した診断が



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

非常に重要である。人材育成を含め、早急に本格的な総合診療科の整備ができるように取り組みたい。

松本昌成（公明党市議員）

子どもの貧困対策について

**問** 本市の子どもの貧困対策計画について伺う。

**答** 貧困対策やひとり親家庭への支援等を含め、第2期蒲郡市子ども・子育て

支援事業計画の施策展開の中に貧困対策計画を位置付ける。学習支援の充実と子ども食堂への支援を中心施策とし、あらゆる面から施策を展開していきたい。

民生委員協力員制度について

**問** 制度導入に対する市の考えは。

**答** 民生委員・児童委員の負担軽減を目的に導入している自治体がある。委員の支援やなり手不足解消のため、制度導入の有効性について今後も情報収集に努め、研究していきたい。

喚田孝博（自民党市議員）

蒲郡駅北口周辺の再開発について

**問** 民間活力を誘導して再開発を進めるには、市としての全体構想を持つ必要があるのでは。

**答** まちづくりの上位計画に照らし、関係部局と連携しながら、事業者と事業計画を調整していく。



蒲郡駅北エリア

**問** 公共サービスの提供を民間の施設で行えるよう調整はできるか。

**答** 民間事業者が事業計画を立てる中で市と検討することはできると考える。

竹島ルネサンス（再生）について

**問** これまでの計画の見直しの進め方は。

**答** まずは東港一帯を検討し、公共主体が民間手法等の検討を行った後に計画の見直しを進めていく。